

## 当院で小児頭部 CT を受けられた患者およびご家族様へ

小児の X 線 CT 検査は放射線リスクの影響が大きいとされているため、適切な撮影条件の設定が求められます。大分看護科学大学の桑原宏氏は撮影目的についても詳細な撮影条件の設定が必要であると仮説を立て、「小児 CT 撮影条件の後ろ向き調査に基づいた線量管理を支配する要因分析」と題し、多施設共同研究を計画しました。当院も本研究に参加し、1 歳から 6 歳までの外傷後の小児頭部 CT について撮影された画像のコントラスト、ノイズ、撮影線量および匿名化した画像データを提供いたします。

この研究により、診断能を損なわない範囲で、外傷などに伴う出血や骨折、水頭症における脳室拡大の変化など比較的コントラストの大きな所見を目的とする小児頭部 CT について具体的な線量低減レベルを明示することが期待されます。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合には、下記問い合わせ窓口へお申し出ください。

[研究課題名] 小児 CT 撮影条件の後ろ向き調査に基づいた線量管理を支配する要因分析  
(実施期間：2021 年 2 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

[研究機関] 大分看護科学大学

[研究責任者] 桑原 宏

[他協力施設] 大分こども病院、大分県立病院、西田病院、刈谷豊田総合病院、ベルランド総合病院

[研究の目的] 本研究は、小児頭部 CT 撮影条件設定の因子を調査し、診断能を損なわない範囲での画質と撮影条件の最適な関係を見出すための画質評価（視覚的評価を含む）とファントムによる物理評価を行い、検査目的別での撮影プロトコルの確立することを目的とします。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

問い合わせ先：窓口

研究責任者：桑原 宏

佐賀関病院

〒879-2201 大分県大分市佐賀関 750-88

TEL097-575-1172

当院の窓口

担当者：有賀 英司

名古屋第二赤十字病院医療技術部放射線科

〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町 2-9

TEL 052-832-1121（代表）（平日 9：00-17：00）